

大好き図書館

図書館で活動するグループ募集！

図書館で活動するグループを募集します。読書会や朗読会など、読書活動の推進を目的としたグループが対象です。申請方法など詳細は、図書館にお問い合わせください。

※営利目的の活動は対象外です。



図書館で活動しているグループ

- ◆古文書講読会
毎月第1火曜日 午後1時30分～3時30分
- ◆つくし俳句会
毎月第2火曜日 午後1時～3時30分
- ◆白萩句会
毎月第3土曜日 午前10時～正午
<読み聞かせ>
- ◆おはなし児童
毎月第2土曜日 午後3時～3時30分
- ◆そらまめの会
毎月第4土曜日 午前11時～11時30分

新刊情報

雨と詩人と落花と
葉室麟／著
徳間書店



天領の豊後日田、私塾・咸宜園の塾主である広瀬旭荘は二度目の妻・松子を迎えた。剛直で激情にかられ、暴力をふるうこともある旭荘。だが、心優しき詩人である彼の本質を松子は理解し、支え続けた。しかし、江戸で松子は病魔に倒れる。時は大塩平八郎の決起など、各地が騒然としている激動期。儒者として漢詩人として、そして夫としてどう生きるべきか。旭荘は逡巡し、ある決断を下す。江戸末期、時代の奔流に生きた至高の夫婦愛。

おいでよ！
おはなし会

- とき
6月9日(土)
午後3時～3時30分
6月23日(土)
午前11時～11時30分
- ところ
児童コーナー

6月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

障がいへの理解

心の架け橋

防災～安心のための災害時要援護者台帳～

近年、大きな災害に見舞われた日田市では、防災への関心が非常に高くなっています。障がい者向けのアンケートにおいて「避難時になんらかの支援が必要」と答えた人は6割であり、災害時に希望する支援体制は「避難所に行くまでの誘導」、「障がい者に配慮した避難所運営」などが高い結果となりました。

実際に災害を経験し、障がいの特性に応じた困りごととして災害やそれに伴う避難によって、身体的な困りごとや環境変化によるパニック等の精神的負担が大きかったことが分かりました。

市では、日田市地域自立支援協議会の中で防災部会を立ち上げ、関係部署と連携し、災害時の障がい者

を支える体制を作っています。また、福祉避難所の整備や要配慮者の把握に努め、地域防災計画の充実を図っています。

災害発生時に自力で避難することが困難であると予測される障がいのある人、又は高齢者は災害時要援護者台帳（3ページで紹介）への登録をお願いします。本人の状態、家族等の緊急連絡先、避難の手助けを行う避難支援員等の情報をあらかじめ台帳へ登録しておくことで、災害時に地域での支援を受けられる体制を整えます。いざという時の安心のために、災害時要援護者台帳を活用しましょう。

☎ 社会福祉課障害福祉係 ☎ 2497

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 - 近世日本の教育遺産として - 26

地域の自然や文化遺産を活用した教育

大山・天瀬方面

☎ 世界遺産推進室（咸宜園教育センター内） ☎ 20268



咸宜園では構内の授業だけでなく、ときには師弟同行して、ときには塾生たちだけで、しばしば周辺の山野、河川、神社・仏閣などに出向き、弁当を開いて食事をし、詩を詠むなどを行いました。

このように、塾の休日である「放學」、山歩きをした「遊山」が淡窓の日記などに見られます。

今号では、放學・遊山の地として「大山・天瀬方面」を紹介いたします。

淡窓は、大山方面へも足を伸ばしています。淡窓六十六歳の、弘化四年（一八四七）八月に、萬々金村（西大山）を訪れて、魚梁を見物しています。大山川の鮎魚は古くから知られ、この地域には大梁があったとされています。弟の久兵衛、仲平や養子の範治など七人が同行して、日の出とともに出発し、小淵、恵良を通って、午前九時頃に萬々金村の庄屋の桑野家に着き、十二時頃約千メートルほど離れた魚梁を見に行っています。しかし、この日は鮎が上からないので池に捕えていた鮎を焼いて酒の肴にしたと記されています。そして、急に激しい雨と風に遭い、帰ってまた更に宴会をしています。その日は、桑野家に泊まり、翌朝の九時頃に発って、十二時に家に帰り着いています。

この行程は、二十四歳の頃に代官に従って歩いたことがある道であったことを懐かしんでいます。この時、桑野家で作った漢詩があります。

烏宿峯前路 烏宿峯の前路
君家ト夜留 君が家に夜を留まる
倭雲生午枕 倭雲は午枕に生じ

山翠滴晴樓 山翠は晴樓に滴る
昔伴棠陰駕 昔棠陰の駕に伴い
今同棟尊遊 今棟尊の遊を同じくす
蒼茫思往時 蒼茫 往時を思い
四十又三秋 四十又三秋
（烏宿山の前の道にある君の家に夜を定めて泊まった。溪谷の雲は枕のところに生じ、山の緑の気が雨上がり、のちに滴る。ここに、昔は代官の駕（代官の乗り物）に従い、今は仲のよい兄弟と一緒に遊んでいる。蒼々と広がる景色の中、過ぎ去った四十三年の昔の事を思い出すのである。）

淡窓は、馬原（天瀬町馬原）方面へも遊山しています。

天保二年（一八三一）二月、五十歳の時、弟の伸平、謙吉及び塾生三十余名と、鞍形尾神社付近を訪れています。「馬鞍山に遊ぶ。俗にうらがたをと称するものなり。家を去ること一里半、路甚だ険ならず。眺望また佳なり。終日にして帰り。」とあります。

鞍形尾神社は、白鳳九年（六八〇）、鞍負郷岩松ヶ峰に八幡神と名乗る神が現れ、社を建てて祀られたとされているもので、後に求来里の元宮に遷され、江戸時代に田島に遷座されて、今の大原神社になったものです。



鞍形尾神社（現地写真）

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

菜ごもり卵

血中コレステロールのほとんどは体内で合成されるため食事の影響は少なく、そのため卵も大量に食べなければ血中コレステロールへの影響は少ないと言われています。卵は筋肉の材料にもなる良質なたんぱく質源でもあるので、特に高齢者は低栄養予防のため1日1個を目安に食べることをおすすめします。



<作り方>

- ①キャベツは1cm幅に切り、ベーコンは5mm幅の千切りにする。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、①を炒め、コンソメ、塩、こしょうで味付けをする。
- ③②を2等分して丸を作り、中央に穴を作って、その穴の中に卵を1つずつ割り入れる。
- ④水を回し入れふたをして、弱火で蒸し焼きにする。

■材料■ (2人分)

キャベツ	100g	コンソメ（粉末）	1.5g	卵	2個
ベーコン	20g	塩	少々	水	大さじ1
サラダ油	大さじ1/2	こしょう	少々		

☎ 健康保険課健康支援係 ☎ 243000